

管理職セミナー事業【兵庫県養父市】

地域の実情と課題

今年度の養父市男女共同参画推進状況調査では、自治会長女性割合0.6%、審議会等の女性登用割合18.3%市職員管理職の女性比率15.3%市議会議員の女性比率6.3%となっており、女性活躍の推進が課題となっている。令和2年度実施した市民意識調査の結果から、平成26年調査と比べて男女共同参画に対する意識は高くなりつつあるが、さらに理解を深めるための取組が必要である。

目的・目標

目的:市内の自治会や審議会等あらゆる分野における女性登用の向上、また職場内でのリーダー就任など女性参画拡大に向け、女性活躍に関する意識改革や人材育成を進めるため、セミナーを実施し、参加者数を目標値とする。

(目標値) - (達成状況)

30名 - 20名

(R3.11.1) - (R4.3.31)

事業の特徴

管理職・職員がそれぞれ持っている「隠れた思いこみ」を意識し、職場の中のコミュニケーションや人材育成について考えることで、女性活躍につながると考えられる。

連携団体

- 兵庫県女性就業支援事業と連携しながら継続した事業となるように実施。
- 養父市男女共同参画推進員と連携。本事業の参加や、本事業の周知、広報等に協力し合いながら取り組む。
- 兵庫県に各事業についての周知、広報を依頼し、幅広い啓発に努める

事業の効果

参加者にアンケートを実施。内容について、大変満足(全体の45%)、やや満足(全体の55%)ほとんどの参加者に職場内での無意識の思いこみがあったとの回答があり、自分自身を見直すきっかけ、管理職としてマネジメント実践のためのヒントを得られる機会となった。また、グループワークでは、職域を越えた課題も見えた。

今後の課題

セミナーの参加者はまだ一部の人であり、事業の周知においても限られた人へしかなされていない。より広い年齢層、より多くの市民に本事業の周知やセミナー等への参加について啓発、促進ができるよう今後も継続して働きかけたい

事業の概要



R3.11.30 管理職セミナーより

講師: 瀧井智美さん(株式会社ICB代表取締役)

内容: 参加者を小グループに分けて、意見交換しながら

職場でのアンコンシャスバイアスについて自分自身を振り返る内容のセミナーであった。

カリキュラム

【導入】オリエンテーション

- ①アンコンシャス・バイアスとは何か
- ②事例で考える職場のアンコンシャス・バイアス
ワーク: 動画視聴 アンコンシャス・バイアスの気づき
ワーク: 自社のアンコンシャス・バイアスについて考える
- ③アンコンシャス・バイアスをコントロールするための5つのヒント

【まとめ】気づきの共有、今後に向けて